

## 2016 年度事業・活動計画

## 熱帯林行動ネットワーク(JATAN) 事務局

## II. 活動計画 (2016 年度)

1. APP/APRIL キャンペーン (インドネシア産紙製品キャンペーン)
  - アスクル社との対話はレインフォレスト・アクション・ネットワークと連携して引き続き行う。
  - APP/APRIL 社の動向に関する情報収集をしながら、引き続き企業やメディアに対する情報提供を行う。
  - APP/APRIL が取得した IFCC/PEFC 認証の脆弱性に関するレポートを公開する。
2. 輸入合板のキャンペーン活動 (サラワクとタスマニア)
  - キャンペーンの拡大継続をはかる中で、一般消費者と地方や小規模の需要者企業をターゲットとするアウトリーチの活動を展開する。
  - スマートフォン版を含むウェブ、フェイスブックなどのソーシャルメディアを活用して問題の啓発を一層広げていくとともに、陳情署名の活動を行っていく。
  - 建材市場のサプライチェーン需給関係のアップデートをはかっていく。
3. ボガブライ問題 日系企業による石炭鉱山開発に伴う保護価値の高い重要な森林が伐採されている問題
  - ボガブライ、ホワイトヘイヴンなど炭鉱拡張が環境にもたらす影響について、現地のフロントライン・アクション・オン・コールと随時連携をはかって引き続き情報のフォローアップをする。また場合によっては関係企業 (中国電力、新日鐵住金) に対しレターや会合による是正に向けた要求を行う。
4. ニューサウスウェールズ州のパルプ用天然林伐採問題 (危機種コアラの生息地破壊)
  - 日本製紙とのレターを通じたやり取りを引き続き行う。
  - 危急種であるコアラの生息地破壊の問題についてまとめた特設ページを開設する。
5. パーム油の調達方針や融資方針の策定支援活動
  - 1) 企業の調達や投融資に関係する絶滅危惧種動物生息地を含む森林減少、泥炭地開発事例、土地紛争事例、労働問題などの事例について現地事例調査 (マレーシア、サバ州を予定) と報告を行う。
  - 2) パーム油購入企業のサプライチェーン管理の取り組み状況についてのアンケート調査を実施する。また、企業のリスク情報や、先述のアンケート結果を含む企業の取り組み状況と改善に向けた評価等に関する情報をまとめた企業向けウェブサイトを作成する。
  - 3) 既存の消費者向けウェブサイトを通じて、パーム油を取り巻く問題に関する消費者の意識啓発を図るために、消費者団体等と連携しながら広報を行う。
  - 4) グリーン購入法の特定調達品目においてパーム油が取り上げられるよう、グリーン購入ネットワーク (GPN) 等の他団体と連携して引き続き提案を行う。
  - 5) 食品表示において、「植物油脂」ではなく「パーム油」と明示されるよう、消費者団体等と連携して政府や企業への働きかけを行う。
6. 会員拡大キャンペーン/ウェブ充実化の取り組み
  - 「インドネシア」「サラワク」「熱帯林」「アブラヤシ」などをキーワードとして関連する研究機関、大学に向けて集中的に広報を行う。
7. 森林認証制度を利用した先住民族の権利尊重の推進
  - 2016 年 6 月 3 日、SGEC が正式に PEFC の相互承認を受けたが、先住民族の権利に関する基準が十分なものではなかったため、今後 PEFC に苦情を提出する予定。
8. 違法木材対策法の制定支援
  - 2016 年 5 月 13 日に「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」が成立したが、違法伐採対策としての木材輸入業者によるデューデリジェンスの実施は義務ではなく登録制とされた。企業に登録を促すための働きかけや具体的なデューデリジェンスの手順に関する情報提供を地球・人間環境フォーラムや FoE ジャパン等と連携して行う。

以上